



助けを求める人に  
寄り添う気持ちを忘れない。

消防職 警防課

梶野 真梨亜 (かじの まりあ)

平成30年度入庁

### 所属の業務内容と現在担当されている業務について、教えてください。

119番通報を受け、素早く内容や場所を聴取し、通報内容をもとに消防署や出張所に救急車や消防車の出動指令を出します。また、救急隊員が到着するまでに電話口を通じて、通報者に心臓マッサージや応急手当の指導を行います。他にも、火災の通報では、必要に応じて初期消火や避難誘導の指示もします。

### 業務の中で、印象に残っていることは？

「子どもが息をしていません！」と通報を受けた時のことです。通報者の母親は泣き叫んでおり、状況を全く聴取できませんでした。まずは、母親を落ち着かせることに専念しようと、「一回深呼吸して、落ち着いて話を聞いてください。」と伝え、再度、容態を確認してもらおうと、わずかに呼吸をしていることが分かりました。その後、救急隊が到着するまで、呼吸状態や目線が合うか等の確認を一緒に行いました。最後に「ありがとうございました。」の一言をいただき、電話越しではありますが、通報者に寄り添うことができたのではないかと思います。



### 倉敷市を志望した理由について教えてください。

幼い頃、私は目の前で倒れた人に対して何もできず、悔しい思いをしました。そして、将来は助けを求めている人に対して最初に声をかけ、手を差し伸べることができる救急隊員になりたいと思い、消防士を目指しました。生まれ育ち、強い思い入れのあるこの街を、誰もが安心して過ごすことができるように、消防士として守りたいと思い志願しました。



倉敷市職員を目指す皆さんにメッセージをお願いします。

入局当初、私は体力に自信がなく、不安な気持ちで一杯でした。そんな時、同じ部署の先輩や同期が私を支えてくれました。あなたの「市民を守り、救いたい」という志があれば、必ず周りの仲間が力になってくれます。消防という仕事は大変な場面もありますが、とてもやりがいのある仕事です。いつか、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。